

令和4年度巡回展 「栃木の遺跡」

近年の発掘調査から注目される **5** 遺跡を展示



くるま橋遺跡出土 銅造阿弥陀如来坐像

土の中からとちぎの宝へ



くるま橋遺跡銅造阿弥陀如来坐像出土状況

くるま橋遺跡出土 銅造阿弥陀如来坐像
県指定文化財指定※ 特別展示

※ 令和4年7月に栃木県文化財保護審議会から指定すべきとの答申がされました。近く指定される見込みです。

くるま橋遺跡遠景 (南東から)

令和4年9月19日(月)~11月27日(日)
栃木県埋蔵文化財センター

令和4年度巡回展「栃木の遺跡」

令和4年9月19日（月）～11月27日（日）

県内では毎年多くの遺跡で発掘調査が実施されています。それらの成果を県民の皆様にご紹介するために、大田原市なす風土記の丘湯津上資料館・那珂川町なす風土記の丘資料館・栃木県埋蔵文化財センター・栃木県立博物館を巡回して展示を行っています。栃木県埋蔵文化財センターの展示では、近年埋蔵文化財センターで調査した遺跡を中心にご紹介します。

展示遺跡紹介

○くるま橋遺跡（真岡市）

銅造製阿弥陀如来坐像が出土したことで話題になった遺跡です。阿弥陀如来坐像以外にも渡来人の関与がうかがえる統一新羅系土器などが出土しています。

○千駄塚浅間遺跡（小山市）

古墳時代の集落が確認された遺跡です。今回は古墳時代終末期の土器を展示し、当時の人々の生活について触れていきます。

○東山道駅路跡（さくら市・那須烏山市）

令和3年度の調査で東山道駅路跡が確認されました。その成果を写真にてご紹介します。

○南飯田前畑遺跡（小山市）

中世の出土品が多く見つかった遺跡です。今回は井戸跡から見つかった板碑や、内耳土器を展示します。

○粟宮宮内遺跡（小山市）

日光街道沿いに所在している遺跡で、街道沿いに江戸時代の集落が営まれていたと考えられています。集落から出土した陶磁器類を展示します。



南飯田前畑遺跡 板碑出土状況



粟宮宮内遺跡 遠景（西から）

他館の予定

栃木県立博物館

令和4年12月17日（土）

～令和5年2月5日（日）



利用案内

■入館無料

■休館日 土曜日・祝日（9月19日（月）・10月10日（月）は開館）
10月9日（日）は休館

■開館時間 9:30～16:30（最終入館16:30）

栃木県埋蔵文化財センター

〒329-0418 栃木県下野市紫 474

☎ 0285-44-8441 fax 0285-43-1972 E-mail webmaster@maibun.or.jp

案内図

